

## I. 神奈川県家具工業組合のご紹介

1863年、横浜は日本における洋家具発祥の地となりました。1970年、その洋家具の伝統を受け継いだ神奈川県家具工業組合が発足、現在は神奈川県内の木工家具にルーツを持つ約30社により構成され、近代的な設備のもとで家具職人が日々腕を奮っています。

その家具職人としての技能を継承・発展のために、当組合は厚生労働省（神奈川県職業能力開発協会）の「技能検定（家具手加工・椅子張り等）」事業の受託を毎年行っています。組合で受託事業した昭和57年から平成26年までに1級技能士147名・2級技能士281名・合計428名の合格者を輩出しています。

技能検定受検者と  
検定委員による  
記念撮影



また23才以下の若手の技量を競う技能五輪では平成4年の参加から、金メダル2名・銀メダル9名・銅メダル7名・敢闘賞14名の受賞者を輩出しています。昨25年度は、金・銀・銅・敢闘賞獲得と、挑戦した5名全員が入賞という快挙を成し遂げました。

26年1月新年賀詞交  
歓会における表彰式

